

子ども・子育てに関する各種調査結果の主な概要

1 子ども・子育てニーズ調査（令和5年）

- 調査方法：無作為抽出・郵送による配付及びインターネットによる回収
 ○ 対象：就学前児童保護者、小学生児童保護者、小学生児童
 ○ 子どもと家庭の状況「子育てを主に行っている人」（下段は前回平成30年度調査）

回答者	第1位	第2位
就学前児童保護者	父母ともに 58.3% (" 49.3%)	主に母親 40.6% (" 49.3%)
小学生児童保護者	父母ともに 57.6% (" 51.1%)	主に母親 40.8% (" 46.4%)

○ 母親の就労状況（下段は前回平成30年度調査）

回答者	第1位	第2位	第3位
就学前児童保護者	フルタイム 41.6% (" 34.2%)	不就労（以前就労） 22.5% (" 31.7%)	パート・アルバイト 20.3% (" 12.4%)
小学生児童保護者	フルタイム 43.1% (パート・アルバイト 30.5%)	パート・アルバイト 34.6% (フルタイム 26.3%)	不就労（以前就労） 17.5% (" 25.8%)

○ 家庭類型（下段は前回平成30年度調査）

回答者	第1位	第2位	第3位
就学前児童保護者	ともにフルタイム 51.4% (" 35.2%)	専業主婦（夫） 23.5% (" 28.5%)	フルタイム・パート 19.0% (" 10.2%)
小学生児童保護者	ともにフルタイム 37.7% (フルタイム・パート 24.6%)	フルタイム・パート 33.0% (専業主婦（夫） 21.8%)	専業主婦（夫） 18.8% (ともにフルタイム 20.7%)

○ 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と希望

利用率81.2%（前回73.6%）	利用希望
1位 認可保育所 53.6%	1位 認可保育所 54.8%
2位 私立幼稚園 28.2%	2位 私立幼稚園 40.4%
3位 預かり保育 7.8%	3位 預かり保育 26.3%

○ こども誰でも通園制度の認知度と利用希望

認知度	利用希望
名前も内容も知っている 19.0%	とても利用したい 22.8%
内容は知らなかった 13.6%	できれば利用してみたい 31.5%
知らなかった 66.2%	利用したくない 17.6%

○ 主な子育て支援サービスの利用状況

新生児等産婦訪問 91.8%	すくすくカード 59.7%
妊婦・出産ナビゲーション事業 81.6%	児童館「乳幼児子育て支援事業」 57.5%
乳幼児歯科検診 77.9%	いたばし子育て応援アプリ 56.9%
赤ちゃんの駅 61.1%	子育て相談 54.0%
母親学級・両親学級 60.6%	離乳食講演会 52.2%

○ 小学校就学後の休日や放課後の過ごし方

回答者	放課後に過ごさせたい場所	土曜日に過ごさせたい場所
就学前児童保護者	1位 あいキッズ 70.1% 2位 習い事(ピアノ教室、塾等) 43.0% 3位 自宅 40.7%	自宅 75.4% 習い事(ピアノ教室、塾等) 41.9% あいキッズ 29.7%
小学生児童保護者	1位 自宅 70.8% 2位 習い事(ピアノ教室、塾等) 67.2% 3位 あいキッズ 41.3%	自宅 79.9% 習い事(ピアノ教室、塾等) 58.3% 公共施設(図書館、児童館等) 31.7%

○ 子育て全般について

回答者	子育てについて	自らの虐待可能性の意識
就学前児童保護者	楽しいと感じることが多い 59.3% 楽しいとつらいが同じくらい 33.4% つらいと感じることが多い 4.7%	思ったことはない 58.3% 思ったことがある 21.8% 何とも言えない 17.7%
小学生児童保護者	楽しいと感じることが多い 60.9% 楽しいとつらいが同じくらい 30.6% つらいと感じることが多い 7.1%	思ったことはない 55.6% 思ったことがある 23.2% 何とも言えない 20.8%

○ 日常悩んでいること・気になること

回答者	子どもに関すること	自分に関すること
就学前児童保護者	子どものしつけ 67.1% 子どもの教育・保育 56.2% 食事や栄養 48.5%	自分の時間がとれない 50.9% 身体の疲れ 49.2% 経済的な不安 41.6%
小学生児童保護者	子どものしつけ 53.5% 子どもの教育・保育 50.4% 子どもの友だちづきあい 47.6%	経済的な不安 41.0% 自分の時間がとれない 32.4% 身体の疲れ 26.3%

○ 気軽に相談できる人・場所

回答者	有無	気軽に相談できる人や場所
就学前 児童保護者	いる／ある	81.8%
	いない／ない	15.3%
	無回答	2.8%
小学生 児童保護者	いる／ある	81.0%
	いない／ない	18.8%
	無回答	0.2%

○ 平日に子どもと接する時間（下段は前回平成30年度調査）

回答者	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4時間以上
就学前 児童保護者	22.9% (17.5%)	17.1% (16.1%)	16.8% (14.7%)	13.2% (11.7%)	27.2% (33.2%)
小学生 児童保護者	32.1% (34.2%)	30.6% (25.4%)	18.5% (17.7%)	8.5% (10.2%)	9.4% (9.5%)

○ 教育・保育事業への支出の負担感（下段は前回平成30年度調査）

回答者	大変負担である	負担である	あまり負担には感じない	負担ではない
就学前 児童保護者	16.2% (10.6%)	37.2% (43.5%)	31.8% (28.6%)	9.8% (6.5%)
小学生 児童保護者	21.2% (17.3%)	40.0% (45.7%)	31.0% (27.7%)	4.2% (5.5%)

○ 重点的に取り組むべき事業（小学生児童保護者）

	令和5年度	平成30年度
1位	子どもの身近な遊び場の充実	61.6%
2位	安心して子どもが外出できるまちづくり	47.5%
3位	子育て家庭への経済的な支援の充実	47.5%
4位	休日・夜間などの小児医療体制の充実	31.3%

○ 夕食を子どもだけで食べる頻度（小学生本人）

よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
4.0%	9.5%	23.9%	62.5%

○ 学校にいる時間の楽しさ（小学生本人）

楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない
55.0%	36.6%	6.9%	0.9%

○ 近くにあったら利用したいもの（小学生本人）

1位	友達とおしゃべりできたり、おやつを食べたりできる場所	59.7%
2位	自由に何をして過ごしてもいい場所	58.2%
3位	遊具が充実している公園	56.2%

○ 区に意見等を伝える方法・手段（小学生本人）

伝えたい意見はない	アンケート（紙）	手紙	メール	webアンケート
33.4%	22.2%	21.9%	19.0%	18.4%

2 地域福祉に関するアンケート調査（令和6年）

○ 対象：18歳以上区民、区内10校の小学生、区内5校の中学生

○ 地域や日常生活における優先課題

子どもの貧困への支援	33.9%	ヤングケアラーへの支援	31.7%	ひとり親家庭への支援	18.9%
------------	-------	-------------	-------	------------	-------

○ 強化してほしい取組

いつでも気軽に相談できる体制	44.3%	ヤングケアラーへの支援	23.9%
保健・福祉専門人材の育成と確保	23.4%	子育て家庭を支援するサービス	23.0%
ひとり親家庭への支援	20.8%	子ども食堂に関する支援	17.2%

3 板橋区区民意識意向調査（令和7年）

○ 対象：18歳以上区民

住み心地	全体	18～40歳代	子どものいる世帯
住みやすさ	95.3%	95.9%	95.3%
定住意向	86.4%	83.4%	89.6%
愛着を感じる	84.1%	82.3%	87.4%
誇りを感じる	49.8%	47.1%	46.2%

○ 少子化対策や子育て世帯の定住化に重要だと思うもの

1位	子育て・教育にかかる負担軽減	42.9%
2位	共働きを支援する保育所や放課後対策事業	39.5%
3位	多様な働き方ができる就労・職場環境	26.2%
4位	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援	22.0%
5位	子育てしやすい公園・遊び場の環境	18.7%

○ 板橋区発展のために力を入れるべき分野

	全体	30歳代	40歳代
1位	子育て	46.0%	71.3%
2位	介護・高齢福祉・見守り	32.6%	45.5%
3位	防犯	32.3%	30.6%
4位	防災	31.1%	29.4%
5位	緑・公園・景観	28.6%	27.0%

○ 子育てのしやすさ

	全体	18～40歳代	子どものいる世帯
しやすいと答えた人の割合 (わからない又は無回答を除いた場合)	46.0% (90.9%)	50.5% (89.2%)	76.9% (90.5%)

○ 必要と感じる子育て施策

	未就学児のいる世帯		小学生のいる世帯	
1位	子育て家庭への経済的支援	56.9%	子どもが安心して遊べる場があること	65.5%
2位	子どもが安心して遊べる場があること	56.0%	子育て家庭への経済的支援	48.3%
3位	保育サービスの充実	43.1%	保育サービスの充実	33.6%
4位	妊娠・出産支援	21.1%	子育てに関するオンライン手続きの充実	19.8%
5位	自宅で子育てしている家庭への支援	20.2%	生活に困窮する子育て家庭への支援	18.1%

4 ヤングケアラーに関する実態調査（令和5年）

○ 対象：小中学生、高校生、関係機関

○ 認知度

	小学生	中学生	高校生
聞いたことがあり、内容もよく知っている	15.3%	27.1%	52.2%
聞いたことはあるが、よく知らない	18.7%	22.6%	16.7%

○ お世話をしている人がいると答えた人の割合

小学生	中学生	高校生	(参考：国)	小学生	中学生	高校生
9.9%	5.6%	5.3%		6.5%	5.7%	4.1%

○ お世話をするることによる生活への影響

小学生		中学生		高校生	
友達と遊べないことがある	14.1%	自分の時間がとれない	19.1%	勉強する時間がない	19.5%
自分の時間がとれない	10.0%	勉強する時間がない	14.5%	自分の時間がとれない	18.3%
勉強する時間がない	7.8%	友達と遊べないことがある	9.8%	友達と遊べないことがある	18.3%

○ 必要としている支援

小学生		中学生		高校生	
自分の話を聞いてほしい	10.9%	自分の話を聞いてほしい	12.7%	家庭への金銭面での支援	15.9%
自由に使える時間がほしい	7.6%	自由に過ごせる場所がほしい	12.7%	自由に過ごせる場所がほしい	15.9%
自由に過ごせる場所がほしい	6.5%	自由に使える時間がほしい	12.1%	自分の状況を聞いてほしい	12.2%

5 男女平等参画及び多様性尊重に関する意識・実態調査（令和6年）

○ 対象：18歳以上区民、中学生、事業所

○ 固定的性別役割分担意識「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考え方」

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
18歳以上区民	2.1%	17.5%	31.3%	32.8%
中学生	2.9%	9.2%	21.8%	57.9%

○ 家庭における役割分担

	回答者		主に自分	主にパートナー	主にその他の家族	家族で分担
育児や子どものしつけ	女性	30歳代	15.8%	0.0%	0.0%	31.6%
		40歳代	35.6%	0.0%	0.0%	34.2%
		50歳代	40.0%	0.0%	0.0%	18.5%
	男性	30歳代	0.0%	0.0%	0.0%	29.2%
		40歳代	9.8%	31.7%	4.9%	24.4%
		50歳代	6.3%	12.5%	2.1%	33.3%
子どもの学校行事への参加	女性	30歳代	21.1%	0.0%	0.0%	22.8%
		40歳代	43.8%	0.0%	0.0%	23.3%
		50歳代	44.6%	0.0%	0.0%	13.8%
	男性	30歳代	0.0%	4.2%	0.0%	25.0%
		40歳代	7.3%	34.1%	2.4%	24.4%
		50歳代	6.3%	16.7%	2.1%	22.9%

○ 家事・育児に携わる平均時間

	平日		休日	
	女性	男性	女性	男性
30分未満	7.4%	29.7%	4.6%	17.5%
30分以上1時間未満	12.0%	31.1%	6.0%	23.6%
1時間以上2時間未満	18.3%	21.2%	16.7%	24.5%
2時間以上3時間未満	22.1%	9.4%	24.3%	15.1%
3時間以上5時間未満	19.7%	3.3%	21.9%	9.0%
5時間以上8時間未満	11.5%	1.4%	9.6%	2.8%
8時間以上	7.7%	0.9%	13.9%	4.7%

6 文化芸術に関する意識意向調査（令和6年）

- 対象：18歳以上区民、中学生
- 子どもの文化芸術活動促進に必要な取組

取組	18歳以上	中学生
子どもが楽しく参加・体験できる文化芸術事業や行事などを行う	66.0%	59.1%
学校での文化芸術に関する教育を充実させる	44.6%	23.6%
子どもを対象とした文化芸術の鑑賞の機会を充実させる	44.2%	15.7%
すべての子どもが身近に文化芸術に触れられるようにアーティストを学校に派遣する	34.0%	23.7%
質の高い文化芸術事業に子どもが参加しやすいようにする	26.3%	20.1%

7 多文化共生に関する意識意向調査（令和6年）

- 子育てにおける懸念（回答者：外国人区民）
（※「そう思う」「少しそう思う」の合計、（ ）内は「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）

未就園児のいる世帯	保育所・幼稚園児のいる世帯	小中学生のいる世帯
子育て・教育にかかるお金が高い 61.1% (22.2%)	子育て・教育にかかるお金が高い 50.0% (35.9%)	子育て・教育にかかるお金が高い 64.3% (27.5%)
子どもをあずけるところがみつからない 44.5% (38.9%)	子どもが自国の言語・文化を知ることができるか心配 46.8% (42.2%)	子どもが自国の言語・文化を知ることができるか心配 39.1% (50.5%)
子どもが自国の言語・文化を知ることができるか心配 44.4% (38.9%)	子育て・教育でわからないことがあっても相談する人、場所がわからない 34.4% (50.0%)	子育て・教育でわからないことがあっても相談する人、場所がわからない 36.8% (54.0%)
子どもが日本語ができるようになるか心配 38.9% (55.6%)	保育所・幼稚園側との連絡がうまくいかない（お便りが理解できないなど） 12.6% (73.4%)	学校との連絡がうまくいかない（お便りが理解できないなど） 9.1% (80.4%)

- 外国人増加による子育て・教育面での影響（回答者：15歳以下の子どもと暮らす日本人区民）

※「そう思う」「少しそう思う」の合計、（ ）内は「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計

外国の子どもたちと触れ合う機会が増え、多様な価値観を受け入れることができる	79.2%	(17.0%)
外国の文化や料理を知ったり交流する機会が増え、国際的な感覚が養われる	63.7%	(31.9%)
日本人と外国人の保護者同士の連携がうまくいかない	62.2%	(33.3%)
保育所、幼稚園、学校からの連絡が外国人保護者にうまく伝わらない	62.2%	(33.3%)

8 障がい者実態調査（令和4年）

- 園や学校での困りごと（回答者：障がい児）

先生の理解や配慮が足りないことがある	23.4%
障がいに対する理解や配慮が引き継がれない	18.7%
通うのが大変	18.1%
まわりの児童・生徒たちの理解が得られにくい	15.0%
特に困っていることはない	47.0%

- 学校教育に望むこと（回答者：障がい児）

能力や障がいの状況にあった指導をしてほしい	53.9%
障がいに対する理解や配慮を職員間で引き継いでほしい	52.0%
就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい	50.8%
インクルージョン教育を浸透させてほしい	41.4%
施設・設備・教材を充実してほしい	32.4%